

# 第142回柏崎しんきん地区内経済指標

(平成20年1月)

柏崎信用金庫

## 1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	10,104	-0.38	-0.10	4,092	0.63	-0.14
東部地区	14,264	-0.89	-0.23	5,533	0.41	-0.25
西部地区	10,787	0.04	0.02	3,963	2.37	0.05
駅南地区	6,428	0.61	0.04	2,636	1.93	-0.11
半田地区	3,561	1.48	0.30	1,296	3.18	0.15
横山地区	5,686	-0.33	0.00	1,849	0.48	-0.10
茨目・田尻地区	6,903	-0.97	0.04	2,296	-1.28	-0.08
荒浜地区	5,231	-1.15	-0.43	2,016	0.54	-0.14
その他地区	21,596	-1.84	0.00	7,189	-0.81	-0.01
西山町地区	6,536	-1.46	0.32	2,161	-0.18	0.51
高柳町地区	2,051	-4.33	-0.38	851	-1.39	0.00
柏崎市計	93,147	-0.86	-0.03	33,882	0.43	-0.04
刈羽村	4,972	-0.61	-0.18	1,517	0.73	-0.19
小国地区（長岡市）	6,599	-1.52	-0.10	2,151	0.13	0.09
出雲崎町	5,356	-1.47	-0.31	1,826	0.16	-0.27
合計	110,074	-0.92	-0.06	39,376	0.41	-0.05

（資料出所：柏崎市、各町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比では引き続き全ての市町村・地区で減少しており、柏崎市が816人、0.86％、刈羽村が31人、0.61％、小国地区（長岡市）が102人、1.52％、出雲崎町が80人、1.47％とそれぞれ減少し、全体では1,029人、0.92％の減少となった。

また、前月比においても柏崎市が34人、0.03％、刈羽村が9人、0.18％、小国町が7人、0.10％、出雲崎町が17人、0.31％と減少したことから、全体では67人、0.06％の減少となっている。

一方、世帯数は、前年同月比で柏崎市が146世帯、0.43％、刈羽村が11世帯、0.73％、小国町が3世帯、0.13％、出雲崎町が3世帯、0.16％と全て増加し、全体では163世帯、0.41％と増加している。

また、前月比においては、小国町で2世帯、0.09％と増加したものの、柏崎市が16世帯、0.04％、刈羽村が3世帯、0.19％、出雲崎町が5世帯、0.27％と減少した結果、全体では22世帯、0.05％の減少となった。

## 2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎職安	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎	県	柏崎	県
月間有効求人	1,379		9.27		5.99	
月間有効求職者	981		-14.62		5.14	
月間有効求人倍率	1.41	0.90	0.31*	-0.14*	0.02*	-0.08*

\*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを除く常用）では、月間有効求人数が1,379人と前年同月比で117人、9.27％の増加、前月比でも78人、5.99％と増加している。

一方、月間有効求職者数は981人と前年同月比で168人、14.62％と大幅に減少したが、前月比では48人、5.14％の増加となっている。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.41倍と前年同月比で0.31ポイント上回り、前月比でも0.02ポイント上回り、県平均0.90倍に対しても0.51ポイントと大幅に上回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを除く常用）は、月間新規求人数が494人と前年同月比で39人、8.57％の増加、月間新規求職者数は327人と前年同月比で79人、19.46％と大幅に減少した結果、月間新規求人倍率は1.51倍と前月の2.67倍を1.16ポイント下回ったものの、前年同月の1.12倍は0.39ポイント上回っている。

### 3. 建築確認申請

【単位：件】

	当 月 の 申 請			平成20年1月の累計	
	件 数	前年同月比	前 月 比	件 数	前年同月比
一 般 住 宅 ( 併 用 )	70	56	4	491	172
共 同 住 宅	1	0	0	12	-1
事 務 所	1	1	0	9	3
作 業 所 ・ 工 場	4	3	4	23	0
営 業 建 物	1	1	-1	20	-3
公 共 建 物	0	-1	0	1	-7
そ の 他	4	3	-7	94	-8
合 計	81	63	0	650	156

(資料出所： 柏崎市)

建築確認申請の状況は、引き続き「中越沖地震」の影響から申請合計が81件と前月の申請と同数となり、前年同月比で63件の大幅な増加となっている。工種別内訳の主な増減を見ると、一般住宅（併用）が前年同月比で56件の大幅な増加となっている。

なお、工種全体の申請内容は、新築が35件、増築が29件、改築が17件となっており、一般住宅（併用）における市内・市外施工業者別確認件数は、市内施工業者が30件（うち新築13件、増築11件、改築6件）、市外施工業者が40件（うち新築16件、増築13件、改築11件）となった。

### 4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契 約 口 数			使 用 量		
	口 数	前年同月比	前 月 比	使 用 量	前年同月比	前 月 比
電 灯	65,536	1.42	0.07	28,178	8.55	39.19
電 力	11,905	-5.35	-0.07	46,814	0.25	1.01

(資料出所： 東北電力㈱柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。  
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で922口、1.42%の増加、前月比でも50口、0.07%の増加となった。一方、電力では前年同月比で674口、5.35%の減少、前月比でも9口、0.07%と減少している。

使用量においては、電灯が前年同月比で2,221kwh、8.55%の増加、前月比では7,935kwh、39.19%と大幅に増加している。一方、電力においては前年同月比で117kwh、0.25%の増加、前月比でも471kwh、1.01%の増加となっている。

### 5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m<sup>3</sup>、%】

	ガ ス 供 給 量			水 道 給 水 量		
	供 給 量	前年同月比	前 月 比	給 水 量	前年同月比	前 月 比
家 庭 用	1,816,072	-6.61	24.50	695,062	-3.90	1.63
営 業 用	332,723	4.49	25.80	122,507	1.34	-3.50
工 場 用	778,640	42.57	19.19	132,554	-13.82	-1.94
官 公 学 校 用	706,105	3.63	26.34	77,032	-1.39	-3.18
そ の 他				151	12.68	143.54
合 計	3,633,540	4.09	23.79	1,027,306	-4.54	0.15

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途全体では前年同月比で143,059m<sup>3</sup>、4.09%の増加、前月比では季節的要因と原油価格の高騰などから698,312m<sup>3</sup>、23.79%の大幅な増加となった。用途別内訳を見ると、前年同月比では家庭用を除いた全ての用途で増加、前月比では全ての用途で大幅に増加している。

一方、水道給水量は前年同月比で48,925m<sup>3</sup>、4.54%と減少したが、前月比では1,633m<sup>3</sup>、0.15%と増加している。用途別内訳を見ると、前年同月比では工場用が2桁台の減少となっており、前月比では家庭用とその他を除いた用途で減少している。

## 6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	68,699	9.74	-14.99	71,760	9.65	-15.67
西 山	38,959	21.76	-18.67	34,923	23.50	-18.66
米 山	16,573	0.91	-20.46	15,728	7.83	-19.06
合 計	124,231	11.90	-16.93	122,411	13.02	-16.99

(資料出所：道路公団金沢管理局上越管理事務所)

柏崎地域の物流指標となる高速道路出入口の交通量は、入口が全体では前年同月比で13,213台、11.90%の大幅な増加となったものの、前月比では25,334台、16.93%と大幅に減少している。

一方、出口においても、全体では前年同月比で14,108台、13.02%の大幅な増加、前月比では25,062台、16.99%の大幅な減少となった。

インター別の内訳を見ると、全てのインターにおいて入口・出口ともに前年同月比では増加したが、前月比においては2桁台の大幅な減少となっている。

## 7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
未 残	345,967	6.50	-1.36	149,636	7.58	2.89
平 残	346,129	6.11	0.48	143,315	3.97	0.72

預金は、未残が前年同月比で21,127百万円、6.50%の増加となったものの、前月比では4,779百万円、1.36%の減少となっている。また、平残においては前年同月比で19,961百万円、6.11%の増加、前月比でも1,664百万円、0.48%の増加となっており、平残においては引き続き堅調に推移している。

一方、貸出金においても、未残が前年同月比で10,548百万円、7.58%の増加、前月比でも4,215百万円、2.89%の増加となり、平残も前年同月比で5,483百万円、3.97%の増加、前月比でも1,031百万円、0.72%と増加し、未残、平残ともに堅調な推移となっている。

## 8. 市内手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	5,943	-6.98	20.23
交 換 金 額	4,965	-8.34	39.78
不 渡 り 手 形 枚 数	0	0.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	0	0.00	0.00

(資料出所：柏崎手形交換所)

柏崎手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で446枚、6.98%の減少、前月比では前月末(年末)の休日要因から1,000枚、20.23%と大幅に増加している。また、交換金額においても同様に前年同月比で452百万円、8.34%の減少、前月比では1,413百万円、39.78%の増加となっている。なお、不渡手形は引き続き発生していない。

1月の法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は5件(前年同月2件、前月7件)、負債総額177億円(同5億円、同15億円)、1件当たりの負債額35億円(同2億円、同2億円)となった。

地区別では下越地区で2件(新潟市2件)、中越地区で1件(加茂市1件)、上越地区で2件(上越市2件)発生している。業種別は製造業2件、販売業1件、サービス業・その他2件で、倒産原因別の状況は販売不振2件、放漫経営1件、新商品開発の失敗1件、その他1件となっている。

当月の企業倒産は5件、負債総額で177億円と前年同月比では件数で3件増加し、負債総額では大型倒産(負債総額10億円以上)の発生(1件、151億円)から172億円の大幅な増加となっている。なお、大型倒産は新潟精密(株)(上越市)で、1月31日に東京地裁に民事再生法の適用を申請している。

県内企業を取り巻く経営環境は、素材価格の高騰などから収益環境は厳しい状況にある。倒産状況においても、大型倒産が発生した一方で小規模企業の倒産も依然として高水準で発生している。このような倒産動向を見ると、依然として中小・零細企業の経営環境に改善は見られず、今後の倒産件数も増加基調となる可能性が窺える。